

国営讃岐まんのう公園の概要

香川河川国道事務所

1. 国営讃岐まんのう公園について
2. 官民連携手法導入検討の背景・目的
3. 基本情報
4. 公園内のゾーン・エリアについて
5. 主要イベント・体験イベントについて
6. 園内の移動手段
7. エリア別詳細
8. 官民連携での活用イメージ
9. 想定活用手法の紹介

1. 国営讃岐まんのう公園について

【概要】

- 日本最大級のため池である「満濃池」に接する、四国で唯一の国営公園。
- 主として四国地方の広域レクリエーション需要に対応するために計画。
- S59年に整備着手し、H10年に第一期開園(約80ha)、以降段階的に整備されH25年に全面開園(350ha)。
- 主要アクセスとしては高松空港（車で約30分）、JR琴平駅等（タクシーで約15分）。

<基本情報>

国営公園の区分	(イ)号国営公園
所在地	香川県仲多度郡まんのう町吉野4243-12
公園面積	350.0ha

<主要アクセス>

飛行機	「高松空港」より車で約30分
電車	JR「琴平駅」、琴電「琴平駅」or「岡田駅」より タクシー約15分 もしくはバス約20分+徒歩約20~30分
車	善通寺I.C.より車で約25分 他



1. 国営讃岐まんのう公園について

【基本理念】

- 本公園は、満濃池とその周辺の豊かな自然、そして空海を生んだ四国の文化的土壌、里山の風景・文化を活かし、四国地域の住民をはじめとした来訪者に自然のなかでのレクリエーション活動等を通して成長に寄与することを目標としている。

<基本テーマ>

『人間との語らい、自然・宇宙とのふれあい』

<基本方針>

- ① 子供から大人まで、**四季を通じて多様なレクリエーション活動**が行える公園。
- ② 計画地の特性や地域の文化、歴史、風土等を生かした**四国らしい公園**。
- ③ **四国地域の人々の日帰り利用を主体とするが、滞在型の利用や四国を訪れる観光客も利用できる公園**
- ④ 公園の豊かな**自然とのふれあい**や、様々なレクリエーション活動、イベントを通じて**豊かな人間形成に役立つ公園**

2. 官民連携手法導入検討の背景・目的

官民連携手法の導入目的整理

● 基本テーマ

「人間との語らい、自然・宇宙とのふれあい」

● 現行の公園のストック効果

- 讃岐地方の里山が有する自然環境を保全
- 広域からの観光客の集客による地域の活性化
- 健康増進への貢献・スポーツを通じた交流の場の提供
- 里山文化の体験と継承・多世代にわたる地域間交流
- 自然環境について楽しみながら学べる場
- 広域防災拠点等としての機能

出典：国営讃岐まんのう公園 管理運営プログラム(R3.6)



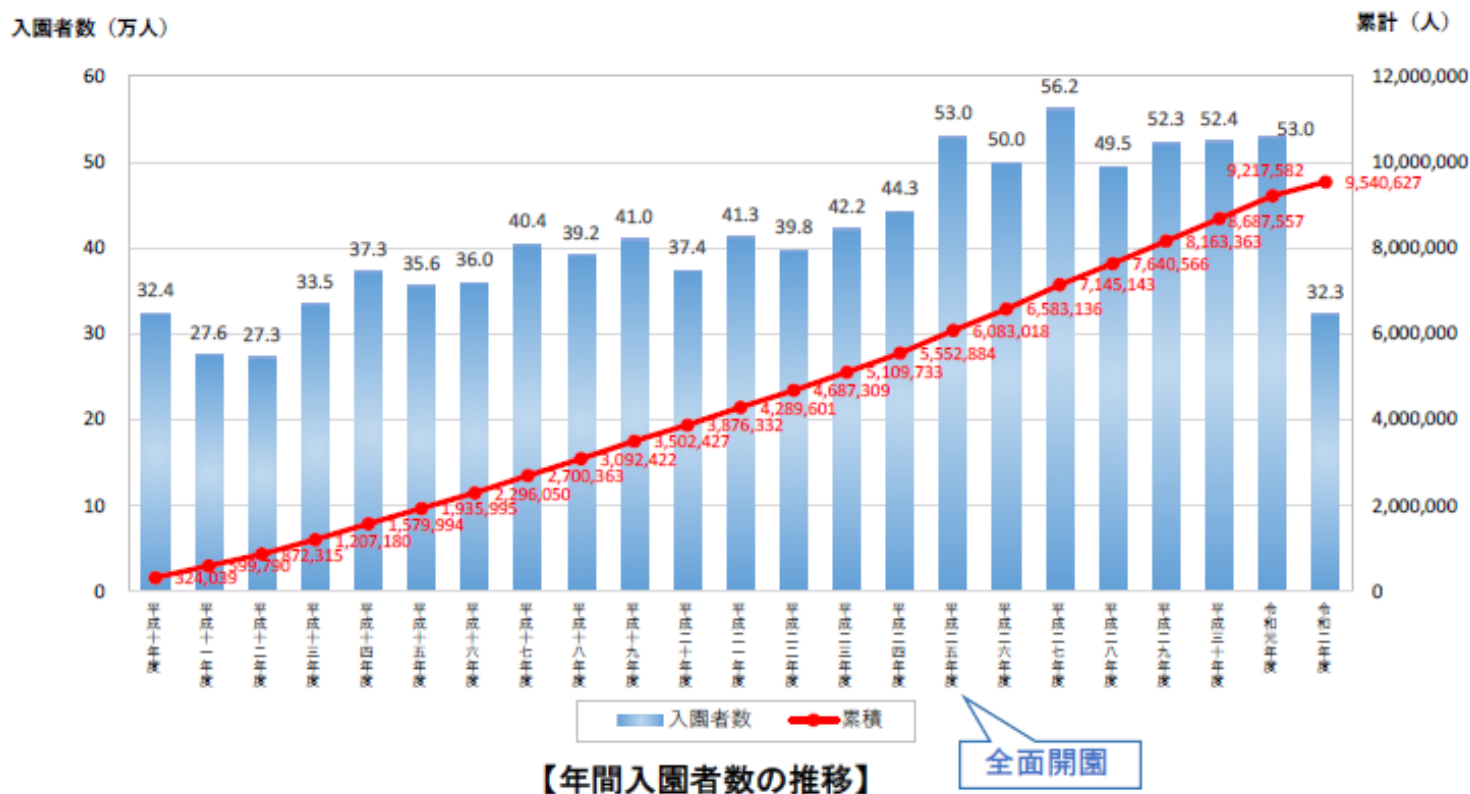
国営公園（都市公園）に関する近年の指針等におけるあり方を踏まえ

官民連携手法の導入目的

- ① 四季折々の豊かな自然景観と連携した取組により、広域からの観光客の集客効果の向上をはかります。
- ② 公園全体の収益性の向上をはかり、質の高いサービス・体験として来園者に還元します。

3. 基本情報（来場者数）

- 開園（H10年度）から令和2年度までの入園者数の累計は約954万人。
- 令和元年度には約53万人、令和2年度には約32万人が利用。

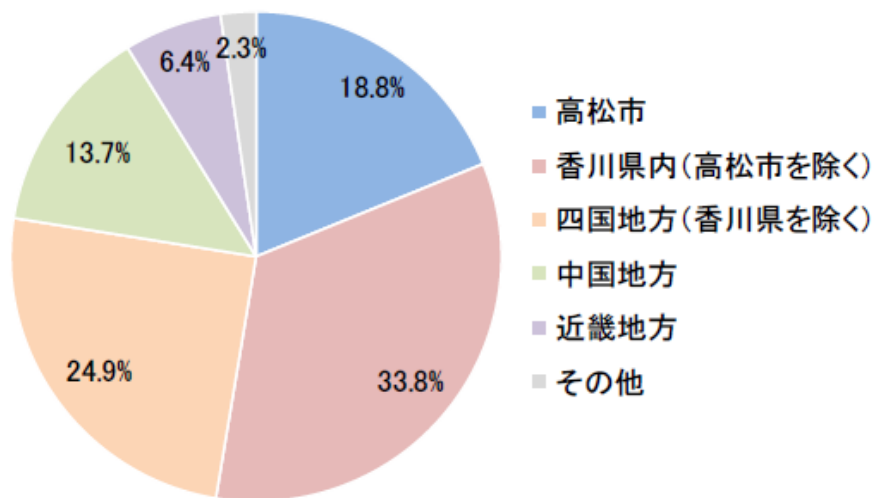


出典：国営讃岐まんのう公園 管理運営プログラム(R3.6)

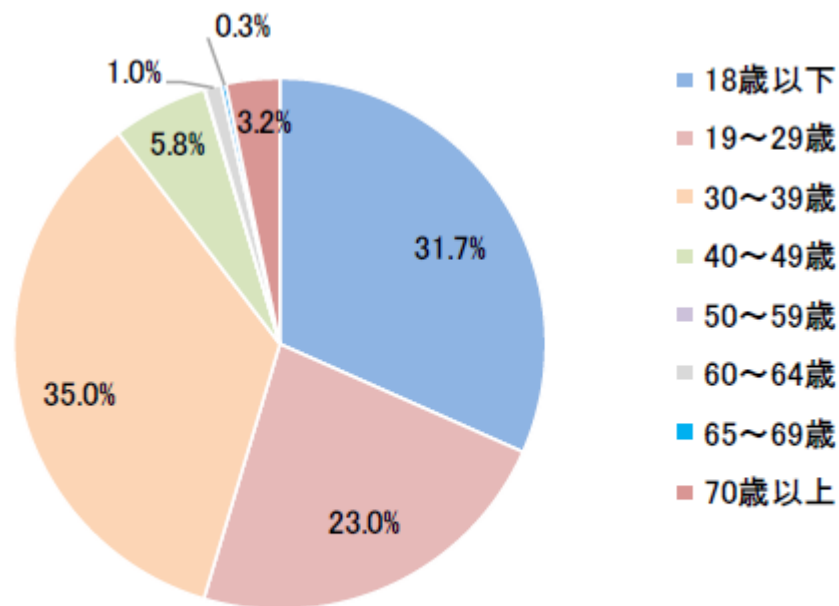
3. 基本情報（来場者数）

- 居住地別では香川県（高松市含）が約53%、香川県を含めた四国地方が約78%を占める。
⇒四国地方以外からの来訪は約22%、中国地方からは約14%。
- 年齢別では30～39歳が35%、39歳以下では約90%を占める。
⇒高齢者(65歳以上) は3.5%にとどまる。

<来場者数>



入園者の居住地比率（R1 年度）



入園者の年齢比率（R1 年度）

出典：国営讃岐まんのう公園 管理運営プログラム(R3.6)

3. 基本情報（開園時間・休園日）

- 開園時間は9:30、閉園時間は季節によって変動するが後述するイルミネーションイベント（ウインターファンタジー等）の期間は21時まで延長している。
- 休園日は原則毎週火曜日・年末年始だが、後述する四大イベントのうち、春～秋にかけては無休である。

<開園時間>

期間	開園時間
3月1日～7月19日	9:30～17:00
7月20日～8月31日	9:30～18:00
9月1日～10月31日	9:30～17:00
11月1日～2月末日	9:30～16:30

※イルミネーションイベント期間：開園時間延長する場合あり。

<休園日>

休園日

- 毎週火曜日 ただし、火曜日が祝日の場合、当日の火曜日は開園し、翌日の水曜日は休園します。水曜日が祝日の場合、前日の火曜日は開園します。
- 12月29日～1月1日
- 1月の第4水曜日～金曜日の3日間

ただし、下記の期間は無休です。

- 3月20日～5月31日
- 7月20日～8月31日
- 9月11日～10月31日

※まんのう町が「洪水」「暴風」等の警報発令が伴う異常気象時は、臨時閉園になる場合があります。

3. 基本情報（入園料・駐車料金等）

<入園料>

区分	一般	団体	2日間 通し券	年間 パスポート
おとな (15歳以上)	450円	290円	500円	4,500円
シルバー (65歳以上)	210円	210円	250円	2,100円
こども (中学生以下)	無料	無料	-	-

※団体：小学生以上の方、20名以上での入園が対象。

<駐車料金>

車種	料金	※年パス提示
普通車	320円	260円
大型車	1,050円	-
二輪車	100円	80円

「駐車場付年間パスポート」もあり。
⇒「入園年間パスポート」+1,020円。

<駐車台数>

場所	普通車	大型車	二輪車	障害者用
①中央駐車場	902台	18台	20台	11台
②北駐車場	260台	10台	10台	10台
③自然生態園	17台	-	-	2台
④お花見広場	24台	-	-	3台



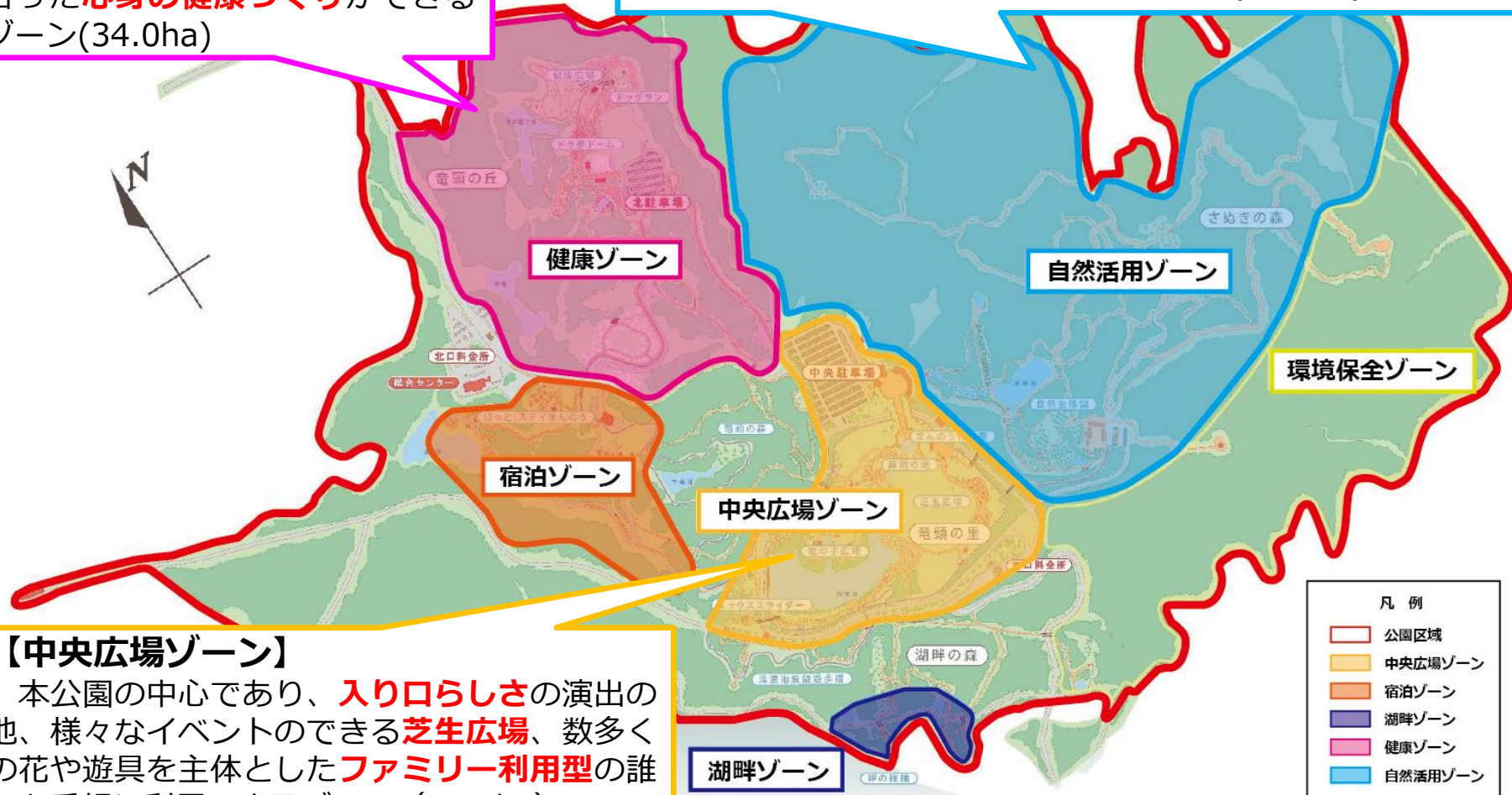
4. 公園内のゾーン・エリアについて

【健康ゾーン】

四国有数の花・紅葉風景の中で、子どもからお年寄りまで、自分に合った**心身の健康づくり**ができるゾーン(34.0ha)

【自然活用ゾーン】

自然生態園を中心とした**四国らしい里山環境**や**豊かな自然環境**の中で**自然観賞**、**レクリエーション活動**、持続可能な社会づくりについての**体験・学習**ができるゾーン(84.6ha)



【中央広場ゾーン】

本公園の中心であり、**入り口らしさ**の演出の他、様々なイベントのできる**芝生広場**、数多くの花や遊具を主体とした**ファミリー利用型**の誰でも手軽に利用できるゾーン (32.9ha)

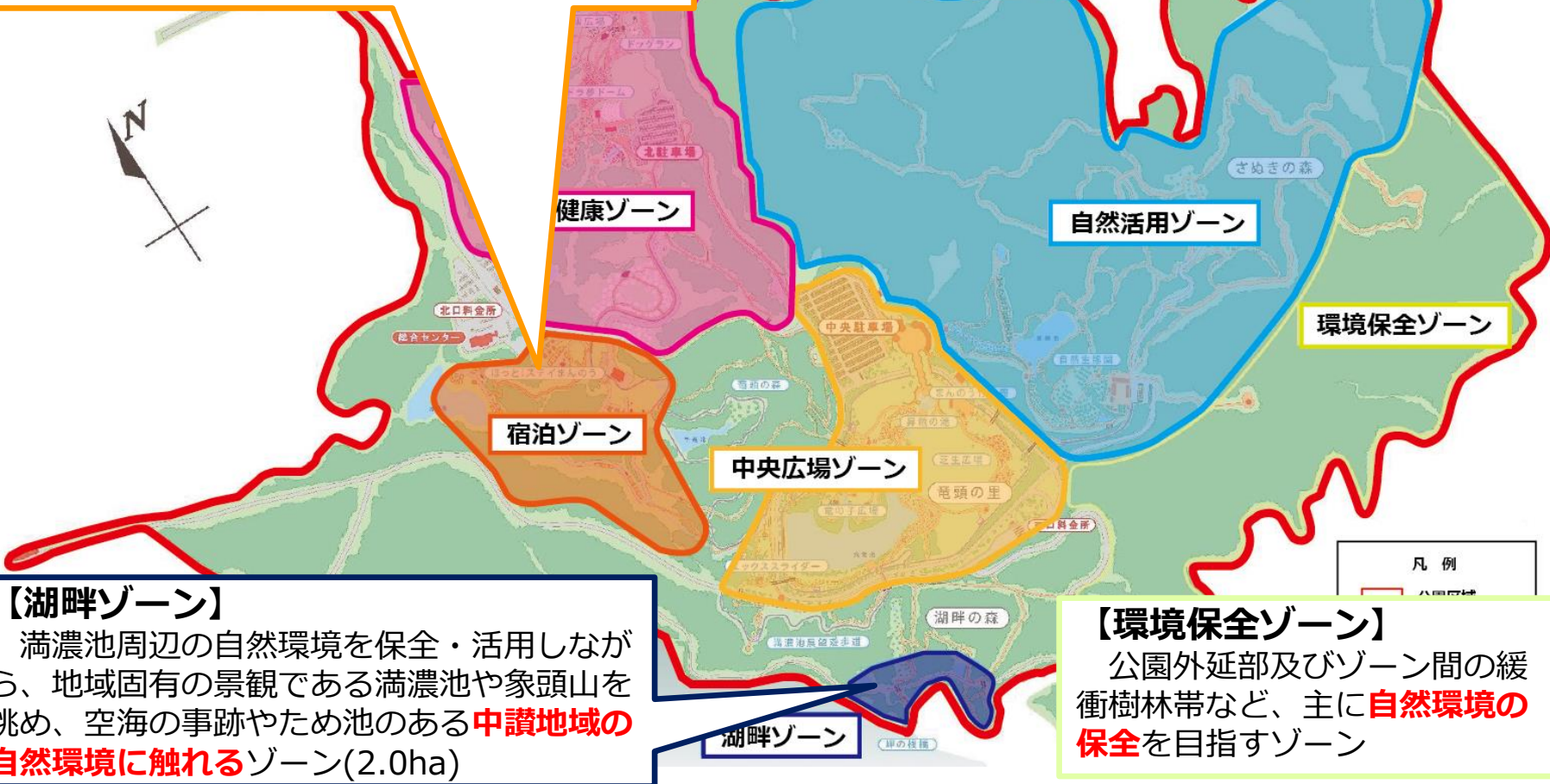
凡例

- 公園区域
- 中央広場ゾーン
- 宿泊ゾーン
- 湖畔ゾーン
- 健康ゾーン
- 自然活用ゾーン

4. 公園内のゾーン・エリアについて

【宿泊ゾーン】

最大106家族収容可能な**四国最大級のオートキャンプ場**で、ファミリーや団体で利用できるキャビン、カーサイト等の**宿泊機能**を備えたゾーン (18.2ha)



【湖畔ゾーン】

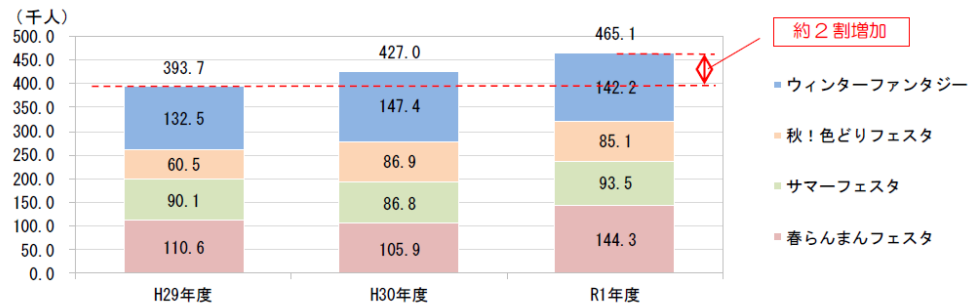
満濃池周辺の自然環境を保全・活用しながら、地域固有の景観である満濃池や象頭山を眺め、空海の事跡やため池のある**中讃地域の自然環境に触れる**ゾーン(2.0ha)

【環境保全ゾーン】

公園外延部及びゾーン間の緩衝樹林帯など、主に**自然環境の保全**を目指すゾーン

5. 主要イベントについて

雄大な自然や色とりどりの花木を生かした自主イベントを開催しており、特に四大イベント（下図赤枠）の開催時期は**年間入園者数の約8割**を集客している。



四大イベント開催時の入園者数推移
※四大イベントは入園者数全体の約80%を集客する

4月	5月	6月	7月	8月	9月
春らんまんフェスタ 		あじさいまつり 	サマーフェスタ 		秋！色どりフェスタ 
10月	11月	12月	1月	2月	3月
秋！色どりフェスタ 	ウィンターファンタジー 		リレーマラソン 	早春フェスタ 	

5. 体験イベントについて

- 中央広場ゾーン（まんのう竹風庵など）では、ファミリー層を中心とした、下記のようなイベントを毎週末開催している。
- この他自然活用ゾーン（自然生態園）では、里山での生活・伝承を体験できるイベント（わら草履・干し柿・うどん作成等）や自然体験型のイベントを開催している。

国営讃岐まんのう公園で体験できる教室

◆ 主な教室一覧

● 陶芸教室

800gの粘土をこねて、オリジナルの陶芸作品を作ることができます。

- 場所：まんのう竹風庵(工房)
- 体験時間：1時間30分



● ハーブ教室

主に風花の庭で収穫したハーブを使って、キーホルダーやフォトスタンド、フラワーボックスなどを作ることができます。

- ※季節により体験できるメニューが限定されます。
- 場所：ビジターセンター ハーブ



● 木工教室

木材を使って、本立てや小物入れ、鳥の巣箱、貯金箱、手提げ小物入れなどを作ることができます。

- 場所：体験学習館
- 体験時間：1時間～1時間30分



● お茶席

お抹茶とお菓子がついたお茶席が気軽に体験できます。

- 場所：まんのう竹風庵(茶室)
- 体験時間：30分



● トールペイント教室

動物などの形をした木にペイントをして、プランタースティック、壁かけ、キーホルダーなどのかわいい飾り物を作ることができます。

- 場所：体験学習館
- 体験時間：30分～2時間



● パン・ピザ教室

天然酵母を使った生地を自分で形にして、パンやピザを石窯で風味豊かに焼き上げることができます。

- 場所：竜の子広場 ドラ夢の家
- 体験時間：30分～2時間30分



5. 市民参加（ボランティア活動）について

- 本公園では体験イベントの開催や花木の手入れなど、市民参加（ボランティア）の協力を得ながら進めている。
- 体験イベントは中央広場ゾーン（まんのう竹風庵など）、花木の管理や自然体験型イベントは自然活用ゾーンや環境保全ゾーンにて実施されている。

国営讃岐まんのう公園のボランティア活動

◆パートナー

●かりん夢クラブ

公園内で陶芸・ハーブ・木工教室などの体験プログラムの運営や指導を実施

○活動状況：主に土・日・祝日に活動



かりん夢クラブ(体験教室・陶芸)

●インタープリターボランティアの会

公園内の自然のみならず、地域の歴史・文化等も伝える活動(インタープリテーション)や公園内の里山管理、田植えやわら草履作りなどの体験教室の指導・運営を実施

○活動状況：ガイドウォークについては毎週土・日・祝日(午前・午後各1回実施1~2時間/回)、農業や家畜の飼育については随時活動



インタープリターボランティア(里山管理活動)

●さめきの森の会

「さめきの森」で“市民協働による讃岐らしい里山再生”をテーマとし、森づくり(整備・保全・森林利活用)を自立的に実施



さめきの森の会(森づくり活動)

●まんのう公園 ガーデニングクラブ

公園の四季の草花、花木の手入れなどを実施

○活動状況：毎月第3日曜日に活動



まんのう公園ガーデニングクラブ(花がら摘み)

6. 公園内の移動手段について

- 本公園では特に利用者が多いエリアを中心にサイクリングロードを整備しており、竜頭の里にあるサイクリングセンターにてレンタサイクル事業を実施している。
※ルート・価格・貸出時間は下記参照。
- その他、他国立公園よりセグウェイを借用し、期間限定で竜頭の里を中心に体験型移動手段として提供している。



<貸出料金>

	貸し自転車		貸し電動自転車 (26インチ)	
	基本料金	追加料金	基本料金	追加料金
おとな (15歳以上)	2時間 300円	30分ごと 100円	2時間 600円	30分ごと 200円
こども (中学生以下)	2時間 100円	30分ごと 30円	-	-

<貸出時間>

期間	貸し出し(受付)時間	最終返却時間
3月1日～7月19日	9:30～16:00	17:00
7月20日～8月31日	9:30～17:00	18:00
9月1日～10月31日	9:30～16:00	17:00
11月1日～2月末日	9:30～15:30	16:30

7. エリア別詳細



7. エリア別詳細 (竜頭の里)

【竜頭の里】

本公園の中心であり、**入り口らしさ**の演出の他、様々なイベントのできる**芝生広場**、数多くの花や遊具を主体とした**ファミリー利用型**の誰でも手軽に利用できるエリア。芝生広場では音楽フェスが開かれるなど、賑わいの中心地。

● 竜の子ひろば



● 芝生広場



● エントランス広場



● 昇竜の滝



● 竹風庵



● 花竜の道



7. エリア別詳細 (竜頭の丘)

【竜頭の丘】

健康ゾーンに位置付けられており、老若男女問わず、心身の健康づくりがコンセプトのエリア。花巡りの丘では、春はウメ・ネモフィラ、夏・秋はコキア等が見頃となり、本エリアの魅力のひとつ。全天候型の多目的広場があり、音楽フェスやスポーツ大会などで活用されている。

● 花巡りの丘



● 北案内所



● 健康広場



● ドラ夢ドーム



● お花見広場



7. エリア別詳細 (竜頭の森)

【竜頭の森】

「竜頭の里」と「ホッ！とステイまんのう」の中間に位置しており、緩衝緑地的な位置づけのエリア。たけのご園やきのこの森など、森の恵みを身近に感じれるスポットが点在するとともに、巨大遊具（エックススライダー）があるなど、自然のなかでのアクティビティを楽しめる。体験学習館では、毎週末様々な体験イベントが開催されている。



● 体験学習館



● エックススライダー



● 炭焼き窯



● メロディー橋



7. エリア別詳細（自然生態園）

【自然生態園】

懐かしい古里の風景“ため池のある里山”を復元したフィールドミュージアムをテーマとしたエリア。自然生態展示館を中心に四国の自然、里山の文化・風景を維持・管理している。里山体験教室などを通して、来訪者に里山の魅力を伝えるなどを地域と協働で実施している。



● 自然生態展示館



● 北の谷



7. エリア別詳細（さめきの森）

【さめきの森】

讃岐地方の里山が育んできた自然環境の保全と文化の伝承に取り組み、里山がもつ様々な魅力を感じることのできるエリア。

“市民協働による讃岐らしい里山再生”をテーマに森づくり（整備・保全・森林利活用）を自律的に実施する市民協働のボランティア活動を中心に森の活用と保全活用を推進している。一般エリアと入退園申請エリア（下図茶色：生態系保全のため、ガイド同行が必要なエリア）に区分されている。

さめきの森



● 見はらしの山展望台



● 天の広場



7. エリア別詳細 (湖畔の森)

【湖畔の森】

讃岐地方のシンボルである「満濃池」の雄大な眺望と讃岐地方特有の森林に生きる植物や動物を鑑賞することができるエリア。

キャッチコピーは「人と自然、水との関わりを考える」。広大な敷地をハイキングできるよう散策路がされている。



● 満濃池展望遊歩道



● 岬の棧橋



7. エリア別詳細 (オートキャンプ場)

【ホッと！ステイまんのう】

年間来場者数(R1)：約2.4万人

最大106家族収容可能な四国最大級のオートキャンプ場で、ファミリーや団体で利用できるキャビン、カーサイト等の宿泊機能を備えたエリア。オートキャンプ場星マーク認定では最高グレードの5つ星の評価を受けている。



7. エリア別詳細（オートキャンプ場）

【ホッと！ステイまんのう】

施設維持費							備考
		一般	団体割引	障害者割引	パスポート	無料日	
おとな	高校生以上	680	520	230	230	230	団体割引は小学生以上の方が20名以上。障害者割引は保育・障害者手帳持参で本人及び付き添いの方1名が入園料無料になる
シルバー	65歳以上	440	440	230	230	230	
こども	小・中学生	200	200	200	200	200	
幼児	幼児	無料	無料	無料	無料	無料	

追加車両料金						備考
	自動車		二輪車 (自転車を除く)		障害者割引	
	デイ	宿泊	デイ	宿泊		
通常	310	510	100	160	障害者・保育手帳の持参者が1台につき1名乗車していれば無料	二輪車（自転車を除く）は、1歳と2台まで無料で駐車可（グループキャビンは6台まで）
パスポート	260	410	80	130		

7. エリア別詳細（オートキャンプ場）

【ホッと！ステイまんのう】

サイト使用料									
	サイト種類	サイト数	定員～最大	繁忙期	平日割引	会員割引 (上限)	シルバー 割引	障害者割引	備考
一泊につき	グループキャビン(E・F)	2	8～16	25,700	24,700	23,700	12,850	-	定員が1名増えるごとに1000円追加
	風呂付キャビン(C・D)	6	4～10	13,350	12,350	11,350	6,700	11,850	
	キャビン(A・B)	14	4～8	11,850	10,850	9,850	5,950	-	
	トレーラーハウス	1	6～7	15,350	14,350	13,350	7,700	-	
	コンフォートキャビン	3	4～5	13,350	12,350	11,350	6,700	-	
	キャンピングカーサイト	5	10	4,100	3,100	2,100	2,050	-	最大定員を超えともう1サイト追加。 ※二輪、普通車の両方がある場合、メインになる車両によってフリーか二輪フリーかが決まる
	一般カーサイト	56	10	3,100	2,100	1,100	1,550	-	
	フリーサイト(車)	15	10	1,550	-	-	-	-	
	フリーサイト(二輪)		10	500	-	-	-	-	
デイキャンプ	グループキャビン(E・F)	2	16	12,850	-	-	-	-	追加キャビン料なし
	風呂付キャビン(C・D)	6	10	6,700	-	-	-	-	
	キャビン(A・B)	14	8	5,950	-	-	-	-	
	トレーラーハウス	1	6～7	7,700	-	-	-	-	
	コンフォートキャビン	3	5	6,700	-	-	-	-	
	キャンピングカーサイト	5	10	2,050	-	-	-	-	最大定員を超えともう1サイト追加
	一般カーサイト	59	10	1,550	-	-	-	-	
	フリーサイト	15	10	800	-	-	-	-	
備考					繁忙期料金より1000円引き	会員は各シーズン料金より1000円引き、上記金額は割引の上限額	繁忙期以外の日で65歳以上がいる場合(年齢確認ができるものを提示)繁忙期料金の半額になる	通年、障害者がいる場合(障害者、保育手帳提示)風呂キャビンのみ繁忙期料金より1500円引きになる	

8. 官民連携での活用イメージ（例）

- 民間事業者の皆様から、本公園の基本理念及び役割の実現に寄与しつつ、本公園の環境特性、地域の文化・歴史・風土等を活かし、公園の魅力向上に繋がる様々なアイデアに関する提案をいただけると幸いです。

※整備イメージ

アクティビティ

アスレチック



出典：アルプスあずみの公園HP

国営アルプスあづみの公園

アスレチック



出典：横浜動物の森公園HP

横浜動物の森公園

アウトドア

キャンプ場（宿泊）



出典：海の中道公園HP

海の中道海浜公園

デイキャンプ場



出典：昭和の森フォレストビレッジHP

昭和の森フォレストビレッジ

飲食

カフェ



出典：環水公園HP

富岩運河 環水公園

レストラン



出典：環水公園HP

富岩運河 環水公園

子どもの遊び場

屋内遊戯施設



出典：安満遺跡公園HP

安満遺跡公園

9. 想定活用手法の紹介

◆Park-PFI制度について

- 都市公園において飲食店、売店等の公園施設（公募対象公園施設）の設置又は管理を行う民間事業者を、公募により選定する手続きです。
- 事業者が設置する施設から得られる**収益を公園整備に還元することを条件**に、事業者には都市公園法の特例措置がインセンティブとして適用されます。



Park-PFIのイメージ

Park-PFIのメリット

Park-PFIを活用することは、民間事業者、公園利用者にとって以下のようなメリットが考えられます。

★民間事業者のメリット（特例措置）

- 設置管理許可期間の特例：**最長10年⇒最長20年。**
- 建蔽率の特例：原則2%**+10%**
- ※屋根付広場等高い開放性を有する建築物等：**+10%**
- 占有物件の特例：自転車駐車場、看板・広告塔※
※地域における催しに係る情報に限る。

上記の特例により、長期的視野での投資、経営が可能。緑豊かな空間を活用して自ら設置する収益施設に合った広場等を一体的にデザイン、整備することで、収益の向上にもつながる質の高い空間を創出。

★公園利用者のメリット

- 飲食施設の充実など利用者向けサービスが充実。
- 老朽化し、質が低下した施設の更新が進むことで、公園の利便性や安全性の向上。

9. 想定活用手法の紹介

- 都市公園法に規定される公園施設は下表のとおり。
- Park-PFIを活用した場合の公募対象公園施設は、下表の着色部の施設。

■公園施設及び公募対象公園施設一覧

分類	園路広場	修景施設	休養施設	遊戯施設	運動施設	教養施設	便益施設	管理施設	その他の施設
公園施設の種類	園路 広場	植栽 芝生 花壇 いけがき 日陰だな 噴水 水流 池 滝 つき山 彫像 灯籠 石組 飛石	休憩所 ベンチ 野外卓 ピクニック場 キャンプ場 その他これらに類するもの	ぶらんこ 滑り台 シーソー ジャンゲルジム ラダー 砂場 徒渉池 舟遊場 魚つり場 メリーゴーランド 遊戯用電車 野外ダンス場 その他これらに類するもの	野球場 陸上競技場 サッカー場 ラグビー場 テニスコート バスケットボール場 バレーボール場 ゴルフ場 ゲートボール場 水泳プール 温水利用型健康運動施設 リハビリテーション用運動施設 ボート場 スケート場 スキー場 相撲場 弓場 乗馬場 鉄棒 つり輪 その他これらに類するもの これらに附属する工作物 (観覧席、シャワー等)	植物園 温室 分区園 動物園 動物舎 水族館 自然生態園 野鳥観察所 動植物の保護繁殖施設 野外劇場 野外音楽堂 図書館 陳列館 天体・気象観測施設 体験学習施設 記念碑 その他これらに類するもの 遺跡等 (古墳、城跡等)	売店 飲食店 宿泊施設 駐車場 園内移動用施設 便所 荷物預り所 時計台 水飲場 手洗場 その他これらに類するもの	門 柵 管理事務所 詰所 倉庫 車庫 材料置場 苗畑 掲示板 標識 照明施設 ごみ処理場 (廃棄物再生利用施設を含む) くず箱 水道 井戸 暗渠 水門 雨水貯留施設 水質浄化施設 護岸 擁壁 発電施設(環境への負荷の低減に資するもの) その他これらに類するもの	展望台 集会所 備蓄倉庫 [耐震性貯水槽] [放送施設] [情報通信施設] [ヘリポート] [係留施設] [発電施設] [延焼防止のための散水施設] ※[]内は省令で定めている施設
		その他これらに類するもの							

休養施設、遊戯施設、運動施設、教養施設においては、上記に掲げるもののほか、都市公園ごとに地方公共団体が条例で定めることができる。

公募対象公園施設